

競技委員会議事録

2009年10月8日、茨城県石岡市にて競技委員会を行いました。

参加競技委員 板垣・砂間・松村

1. ES (エンドオブスピードセクション) には到達しているが、ゴールに到達しなかった選手に対する減点に関して。

前回の競技委員会にて減点するとした。その割合を HGS (ハングシリーズ) にて 30% で統一することとする。

2. ランキング計算方法に関して。

国内ランキングをヒート制とすることとし、その詳細を決めました。

フライト成立要件は DQ0 以上。

大会成立要件は DQ の合計が 0.8 以上かつ DQ0.5 以上の日があること。

ヒート制計上要件は DQ0.5 以上。

年間を通して、計上できるフライトの総数によって計上する本数を決定する。

14 本以上 7 本計上

12～13 本 6 本計上

10～11 本 5 本計上

8～9 本 4 本計上

6～7 本 3 本計上

4～5 本 2 本計上

1～3 本 1 本計上

計算方法は、各選手の得点を DQ で割って、1000 点満点にノーマライズし、シード選手の参加人数分だけ、シード得点を加味する。

A シード 5 点、B シード 3 点、C シード 1 点とし、未参加人数分だけ上記得点から引く。

なお、各選手の得点が同得点となった場合、ノーマライズ前の得点の合計が高い選手を上位順位とする。

3. 得点計算に関して。

現在のタイム計測方法にエラップタイム方式を加え、各タスクごとに選択できることとする。

4. HGS 登録に関して

HGS 未登録選手は前年度のゼッケンを有効としない。

5. タスクコミッティーの人数に関して

現行 3 人以上を 2 人以上とする。

以下、継続審議事項とした。

①世界選手権の結果を海外大会獲得ポイントとして計上するかどうか。

理由：誰でもエントリーできる大会ではないため。

②ヒート制 1 位の選手を世界選手権代表にする時期と方法。

ただしこれは、選抜ランキングと重複した場合、下位の選手に権利が移行しない。